

ふりがな 氏名	ふじた まり	都 道 府 県	東京都	
	藤田 真理			
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> ・ MA in Development Education and Global Learning, Institute of Education, University College London ・ アイディール・リーダーズ株式会社 			
私のESD活動	人を真ん中に置いた持続可能な社会づくりのための学び研究（感性に注目）、NPO と企業の協働促進			

活動の概要

人を真ん中に置いた持続可能な社会づくりのための学び研究（感性に注目）

人がシステムや社会に合わせるのではなく、社会やシステムを人に合わせることで、持続可能な社会づくりにおいて重要な価値観であることを前提とし、人が自分にとって大事なものは何か、その大事なものを社会づくりにどのように生かすかを考えるための学びの在り方を探究しています。社会構造や「当たり前」を崩すことは開発教育から、人間の感性を開くことはホリスティック教育やコネクションプラクティスから、社会づくりに関しては組織論や地域づくりの実践からそれぞれ示唆をもらっています。

NPO と企業の協働促進 (Co-ceAction: <http://www.co-creaction.jp/>)

社会を動かしていくためには、社会性の高いビジネスモデルが多く生まれることが不可欠であるという考えから、社会課題に取り組むパイオニアである NPO・NGO と、資金やビジネスのノウハウをもつ企業のマッチングを行っています。社会問題はとてつもなく大きく、NPO・NGO のみでは解決はできません。社会を変えてゆく、新しく良いものを社会に浸透させていく際に企業の「思いを形にするチカラ」(資金や知識、人も含めて)は極めて重要です。企業が社会問題の存在や様相を理解し、それらと自らの関係や、どのような社会価値を生み出せるのかに気づくこと、NPO が組織づくりや経営の在り方に刺激を受けることを、そして両者が共に新しい価値を創っていくことを目指しています。

○「NPO と企業の共創」 “Co-ceAction” <http://www.co-creaction.jp/>

今後の活動や協働への展望

初めて ESD 日本ユースの活動に携わるため、どのような出会いや学びがあるかは参加してみないとわかりませんが、問3で書いたことを通して、私たちが望む、人としての有り様とそれに基づく社会の有り様の輪郭をよりはっきりとさせ、研究や企業活動に組み込んでいきたいと考えています。

私の関心の中心は「学び」です。最近では企業で働く方々との学びの場づくりをやってみたいと考えているため、同じような想いをお持ちの方と今後何かを創っていけたらうれしいです。また、私が何か貢献できることがあれば、積極的に協働を模索したいです。

また、修士論文のテーマを絞りきれていないため、実践者として最前線で活躍している参加者の皆さんから様々な刺激を受け、ヒントや研究の題材が見つけれれば嬉しいです。